

■米国：エクセロン社、2016年は同社の原子力にとって「極めて重要な年」と発言

2016年8月12日付の報道によると、エクセロン社のクレイン CEO は、アナリスト向けの説明会において、経済的な課題に直面している同社の原子力発電所にとって2016年は「極めて重要な年」となると述べた。エクセロン社は今年7月、イリノイ州議会で原子力支援策を含む包括的なエネルギー法案が通過しなかったことを受けて、同州のクリントン発電所とクアド・シティーズ発電所、計3基の早期閉鎖を発表した。同氏は、「引き続き課題解決に向け取り組むが、州の歩み寄りが必要」と語り、法案の早期成立を訴えている。イリノイ州議会の秋の会期は11月後半から12月前半頃に予定されており、再度、法案が審議される予定である。エクセロン社は、クリントンとクアド・シティーズの閉鎖決定を取り消すことができる期限は2016年12月と述べている。